

3. レシピタイトル及び献立調理時間を考慮した食材の分散表現

岡田龍人, 但馬康宏 (岡山県立大学)

分散表現の獲得

目的：表記ゆれの多い食材などの分散表現を獲得する

先行研究：料理レシピの分散表現を用いた代用食材の発見手法※
doc2vecによって類似レシピを数件抽出
類似レシピ内からword2vecで得た分散表現を用い、対象食材に対しての代用食材を探す

手段：レシピタイトルや献立調理時間を用いた学習データセットを作成
word2vec(doc2vec)によって分散表現を獲得する

- ◆ レシピタイトル
 - ・ 「ハンバーグ」から「タマネギ」などの食材が推測できるため
 - ・ レシピ手順内に「完成した料理」の名前がないことが多いため
- ◆ 献立調理時間
 - ・ レシピが使われたすべての献立の調理時間が長い → 調理に手間のかかる食材
 - ・ 分散が大きい → 汎用性の高い食材

展望：分散表現獲得による次元数削減
類似レシピの抽出 (代用レシピ)

※梅本晴弥, 豊田 哲也, 大原 剛三, 行動変容と社会システム vol.03,2018, (2018-03-01)

提案手段の流れ

